

第二期武蔵野市観光推進計画 第7回策定委員会 議事要録

【会議概要】

日 時	平成 29 年 3 月 30 日（木）午後 6 時～ 8 時
場 所	武蔵野商工会館 4 階 市民会議室
出席委員	小田宏信委員長、林聖子副委員長、花俣延博委員、麻生日佐子委員、井柳南進委員、中村光治郎委員、福島和仁委員、八尾明美委員、武藤毅委員、小島祐一委員
事務局	生活経済課 西川課長、平塚課長補佐、大久保主任 パシフィックコンサルタンツ株式会社 3名
傍聴者	0名
会議次第	1 開会 2 議事 第二期武蔵野市観光推進計画（最終案）について 3 その他
配布資料	資料1 第二期武蔵野市観光推進計画 第6回策定委員会会議録 資料2 第二期武蔵野市観光推進計画（最終案） 資料3 第6回策定委員会での指摘事項と対応 資料4 各課意見

【議事】

1 開会

2 議事 第二期武蔵野市観光推進計画（最終案）について

事務局	～資料説明～
委員長	今回は最後の委員会なので、委員の皆様順番にこの最終案をご覧になっての感想やご意見を聞き、その上で議論が必要な項目に関して皆様からご意見を頂きたい。
委員	全体を俯瞰しながら修正頂いたと思う。特に概要を前につけていただき、1枚でわかるのですばらしいと思う。細かいことではあるが、見出しはゴシック体にしたり文字の大小をつけたりするとよい。文字が多く若干見づらいので、レイアウトを検討いただければと思う。
委員長	メリハリをつけた表現をしてほしいということだ。
委員	全体にまとまって良くなったと思う。見出しは目次以降の青のラインの中に書かれている文字は太字にするといい。最終的にはそれくらいの修正でいいだろうと思う。
委員長	見出しはゴシック体にするといいかもしれない。明朝体は上品だがインパクトに欠ける。
委員	20 頁の写真のキャプションは「武蔵野市観光ボランティアガイドの会による」で改行するとわかりやすい。 あと 35 頁の施策に「空港バス発着所周辺からまち案内所への誘導手段の検討」とあるが、本当にやるのか。今はバスの発着所は映画館の前にあるがそこからまち案内所まで誘導するのか。最終的にはどなたに聞いてもご案内ができるまちがいいと思う。「誘導」という言葉が引っかかってしまう。
委員長	まずご意見として承り、あとで議論したい。
委員	大変よくできているが、概要の武蔵野市の観光と特徴に「四季折々のまつり」とあるが、「まつり」が平仮名になっているが意味はあるのか。他にも出ていけば統一してほしい。 13 頁の「東京都や隣接地域と連携する」の中で「三つの上水」と変更されたが、

	<p>この書き方では今上水として使われているのかと勘違いされかねないので、「江戸の上水」という表現を入れていただいた方がいいと思う。</p> <p>17 頁以降の施策の文章の最初に「・」がついているが、ゴミのように見えるので、大きくするかはずすかしたほうがよい。</p>
委員長	江戸の上水については明治の半ばまでは使われていたので、「江戸へと導水した3つの上水」という表現がよいと思う。
委員	<p>「江戸の三大上水」という言葉は一般的かといわれるが、もともと六上水あった。そのうちの三上水はすぐになくなったので、残りを引けば「三大上水」になる。またよく勘違いするが、分水を入れて言う方がいて、品川用水の方が大きいという人もいるが、それは用水であり、上水ではない。江戸朱引き内に住んでいた人がどこから上水を供給されているかということと考えられると、江戸の高台は玉川上水、神田や日本橋は神田上水、浅草などは千川上水で供給はほとんど3つの大きな上水で供給されている。その3つが武蔵野市にあるということを書いたかった。</p>
委員長	ここは表現を工夫したい。
委員	<p>概要の基本方針2のMICEの後に「※」が残っている。目次で修正したように、ここでも削除したほうがよい。</p> <p>また重点プロジェクト2が変更前の文言になっているので、その他も中身とリンクしているか確認し修正してほしい。</p>
委員	<p>私は外国人の観光客について話をさせていただいたが、オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ、MICEなど網羅していただき、ありがたいと思う。</p> <p>空港バス発着所付近について案内所はなくても地図はあったほうがよいと思う。現在英語の表記に関してはほぼなく、「羽田」「成田」と漢字で書いている。その辺から変えていったほうがよい。いきなりまち案内所へ誘導というのはどうかと思う。</p>
委員	羽田行きはすぐ乗れるが、成田行きは予約が必要で、まち案内所では聞かれる方もいる。そういう意味で空港バス発着所について書いた方がいいのではないかな。
委員長	後ほど検討する。
委員	<p>必要十分に、いい意味でバランスよくまとめていただいたと思う。特に各課の意見を反映されたのはいいことだと思う。チームを組んでいろいろな課が連携して推し進めるべきもので協力体制が得られことにつながり、全体としてやっていくことになる。</p> <p>冒頭の概要は私も少し違和感があって、字の書体を変えるだけで雰囲気かわる。少し堅苦しい感じがするので、将来期待できるような観光としての楽しさを想起させるようなタイポグラフィを含めてもう少しポップな感じがよかった方がいいと思う。</p>
委員長	挿絵があってもいいかもしれない。
委員	<p>概要の重要プロジェクト2が修正前の文言になっているので修正してほしい。</p> <p>44 頁の観光の課題で「観光客にわかりやすい情報提供や快適な観光を支えるインフラ整備を行う」は重点プロジェクト2にもあてはまると思うので、ここにも「○」をつけていただきたい。</p> <p>42 頁の「来街者を呼び込むための既存イベントの魅力アップ」で、イベントを開く街の土台として、日頃からのおもてなしレベルの向上のための施策を入れてほしい。イベントよりも、常日頃のおもてなしレベルの向上の方が、武蔵野市の観光推進の実力につながる。ブランド力を高めるためには、そちらの方が重要だ。</p> <p>43 頁の下の「モノマチ」の説明で「現在は3日間で10万人が集まるイベント」とあるが、視察に行ったときに、最盛期が10万人で、今は、規模も縮小したと説明をされ、衰退した感じを受けた。成功した例として、単純に参考にすることには疑</p>

	<p>間に思う。参考にしたいなら、上手くいっていない理由を分析してから、参考にすべきではないか。それから、このイベントは、そもそも台東区の皮革産業保護の目的に関連したインキュベーション施設から派生したイベントなので、武蔵野市の観光推進計画とは、根本の目標とするところが異なる。表面に表れるイベントの見かけにとらわれて、単純に参考にするのは適切でないと思う。また、付け加えると、この地域は、若い人達が店を出すための賃料が、吉祥寺などの武蔵野市よりも安い。「既存イベントの魅力アップ」の事例に、若者が事業を始めるインキュベーション的なものをからめるなら、吉祥寺などの武蔵野市と同程度の高い賃料で、若い人が参入するハードルが同じくらい高いところの事例を持ってくるべきではないか。</p>
委員長	賃料というのとは何か。
委員	インキュベーション施設から出て街中で店を出す時に、武蔵野市と同じくらい高い賃料のところでは若い人が頑張っていて成功しているという例を出せば、まだ、説得力も得られると思う。例えば、代官山や自由が丘などでこういうことをやっていて成功しているという例があると参考になる。
委員長	ご意見として承っておく。「3日間で10万人」という具体的な数字ははずしたほうがいいのかもわからない。
委員	<p>27頁の施策で「インターネットによる多言語対応の観光情報の発信強化」「多言語対応の観光マップの見直し」の中に中国語とあるが、中国語の中に簡体語と繁体語があるので表現に入れたほうがよい。</p> <p>35頁と38頁に「空港バス発着所周辺からまち案内所への誘導手段の検討」とあるが、バスから降りたら案内所へ誘導するという表現はどうかと思う。看板やマップなど案内する機能が降りた場所にあるとよい。まち案内所まで連れて行くのが理想だと思うが、現在はそこまでの機能が整っていない。</p> <p>また、38頁・39頁に「民泊についての検討」とあるが、検討するだけでよいのか。推進するかどうかといった方向付けが弱いのではないかと。積極的にインバウンドに対応していくのであれば民泊を検討した上で、どう対応していくのか。</p>
委員長	民泊は賛否両論ある。あとから皆さんにご意見を伺う。
委員	井の頭公園の彫刻園に北村西望の長崎にある平和祈念像の原型がある。それを観光の題材にできるのではないかと。17頁に多彩な魅力を守り育てるというのがあり、現状の文章に「商店街や食、四季を感じられる自然…」と書いてあるが、「芸術・文化」が抜けているのではないかと。SWOT分析でも「芸術・文化が根付いている」と修正したので、ここでも「商店街」の前に「芸術・文化」を書き加えたほうがよい。また北村西望の彫刻は三鷹駅北口にもあり、今後光を当てていくべきではないかと思うので施策に書き入れたほうがよいのではないかと。
委員長	一通りご意見を頂いた。 先ほどの空港バス発着所に係わることだが、発着所付近のサインの充実や案内標識の充実という方がよいのではないかと。
委員	私鉄やJRの駅もある。空港バス発着所及び駅周辺にわかりやすいまち案内が必要ではないか。
委員長	ツーリストオフィスの所在は地図に載せたほうがよいだろう。
委員	Wi-fiが使える場所の情報も必要だ。
委員	外国からの多くの便が成田に着くのは夕方くらいで、外国からの人々が吉祥寺に着くにはまち案内所が閉まっているかどうかという時間帯だ。
委員長	ホテルの場所も示した方がよい。
委員	空港バス発着所はガード下にあり暗い。またアトレへの出入口も狭いので、地図やサインを整備したほうがよい。私はそちらの方が大事だと思う。

委員長	その辺は事務局と検討し修正する。 民泊についてのご意見はあるか。
委員	市としてはどのように考えているのか。
委員	今国会で提出されたと思うが、民泊の年間営業日数の上限を 180 日とした法律が閣議決定された。民泊されたら地域環境が悪化するという自治体は上乘せ条例を作り民泊できない形にするのではないか。日本全体では観光客を増やそうという方向もあるので、どう折り合いをつけるかで、自治体としては地域性を考慮しながら検討していくが、市民の皆様のご意見はどうか。
委員	大田区と杉並区は特区となっている。
委員	Airbnb（エアビーアンドビー・民泊仲介サービス）と契約して、民泊をやっている人がいる。
委員	Airbnb は吉祥寺でも利用している人がいる。
委員長	もし新法が通ったら住居専用地域でも民泊は可能になる。
委員	杉並区などではもう可能になっており、我々で把握しているのは中野・杉並だけでも 300～400 くらいだ。大田区では京王電鉄がマンションを建てて、それを全部民泊にあてている。
委員長	既存のホテル業をおびやかすのではないか。
委員	そのマンションの経営は Airbnb に任せて京王は箱だけ作っている。そういうやり方が増えてくる。
委員	私のマンションでは民泊には供しないということを管理組合の全員一致で採決した。セキュリティを厳しく管理しており、居住者あるいは居住者の許可を得た者以外入館できないというルールがあり、どこで歯止めしていいのルール作りが難しい。そういう意味でここに市としての観光推進の立場から民泊のメリット・デメリットをガイドラインとして検討していただくと参考になる。
委員長	手放しに「民泊を推進する」とは書きにくい。
委員	「民泊についての検討」でよろしいのではないか。
委員	しかし民泊の値段を考えると、間違いなく来てしまう。荻窪から歩いて 5 分くらいの 150 m ² の庭付きのマンションで 18,000 円だ。5～6 人で行くのであればホテルより安い。今東京はホテルが取れないこともあり利用されている。
委員	武蔵野市は東京都の平均より空き家率が高く、マンションの空き家を使って商売をする方は増えている。
委員	ホテル業界には脅威ではあるが、全体としてはビジネスチャンスであることは間違いない。
委員	集客力は増える。
委員	私が住んでいるマンションも、大手の管理会社の提案で、民泊禁止になった。新築のマンションは、これから、ほぼ民泊禁止になるのではないか。その一方で、現在、民泊の Airbnb のサイトを見ると、三鷹駅の北側で 20 軒以上が出ていた。泊まった人が評価を書いているが、その中で人気のホストは、自宅の一軒家の 1 室に 2000 円か 3000 円位の安い金額で泊めた上で、飲み屋などに連れていって、おごったりしているようだ。外国人との民間交流として、Airbnb を使っているようで、そのようなおっとりしたところは、文化的な武蔵野市らしくていいなと思う。
委員長	地方では簡易宿所営業の許可を得て古民家を開放してもてなしてくれるというところはある。
委員	海外の人との交流を楽しむというのはいいと思うが、新しいマンションでは禁止される方向になっている。一軒家か築数年の古いマンションが中心となるのではないか。
委員	居住空間として市民は反対だと思うが、商業地区は増えて来ると思う。

委員	民泊は食事が付いておらず必ず外に食べに行くので、お金を落としてくれる。
委員長	やはり「検討する」という表現になるか。
委員	どう対処していくか検討することは必要だ。メリット・デメリットを検討してほしい。
委員長	どういうトラブルがありうるかという検討も必要だ。ここは原案通り「検討する」とする。他にご意見はあるか。
林委員	アルファベット表記を全角で表記すると3頁の「JNTO」や36頁「PDCA」が途中で改行されてしまう。「P」前の行に残らないように調整してほしい。
委員長	半角でプロポーショナルなフォントを使えばうまく収まると思う。アルファベット表記の見栄えを検討いただく。
委員	「PDCA」には※印をつけて説明しないと一般の方はわからないのではないか。
委員長	あと「フォトゲイニング」も説明をつけたほうがよいかもしれない。「JR」は半角で表記すべきか全角で表記すべきかという問題がある。
委員	全角の方がいい。
委員	私は吉祥寺にきて30数年になるが、自分の住んでいるところのブランド力が高いことはうれしいことだ。皆さまが観光を推進する中で、広く安売りのように人を呼び込んだ結果、吉祥寺及び武蔵野市のブランド力を下げることがないように是非お願いしたい。
委員	コピスがリニューアルして富裕層向けの店舗も入っている。吉祥寺は富裕層を集める形に変えている。
委員	広く人を集めて大衆化した後は、ブランド力も下がり、結局、誰も来なくなってしまう。すべての人を呼び込むよりも、少し、「あこがれの街」位のポジションをキープして、ブランド力を高く保ってほしい。
委員長	コピスだとテナントミックスもやりやすい。
委員	上の階で若い人が店を始めても、1階や地下の入り口など、外から目立つところにある、地権者などの子さんの店舗が、夜9時のコピス閉店までの前の夜7時頃に閉店してしまって、客が上の階に行きづらい雰囲気を出していた。高い賃料を払っている上の階の店の営業の妨げになっていて、店の人が嘆いていた。かわいそうだった。
委員長	商業振興と表裏一体だ。商業振興の計画もあるのか。
委員	産業振興計画を平成30年度に改定するが、そのための基礎調査を平成29年度に行う。新しい企業へのヒアリングや、もともと武蔵野市は飲食業が強いので今後どうすべきかを調査する。
委員長	今後の他の計画にも継承すべき課題ということだ。
委員	武蔵野市には先ほど出た彫刻もあるし、有名な漫画家や、ノーベル賞を取った物理学者などの広い分野の文化人がいるが、観光客と主に接する商業者が、それらの文化資産や文化人をよく知らない現状がある。おもてなしする側として改善したほうがよい。それぞれの商業者が、老舗旅館の女将さんのように、品よく、文化にあふれた街を紹介できれば、ブランド力を高めることにつながる。文化資産や文化人などを分かりやすく冊子にまとめて、市民向けというよりも、まずは、観光客をおもてなしする商業者などが、把握することができるようになってもらえないかと思う。
委員	市長の公室には名誉市民としてノーベル賞を取った方の肖像画が飾ってある。「季刊むさしの」などの冊子でも紹介している。さらに過去に紹介したのものも、さらに取り上げる形で紹介していきたい。
委員	北村西望さんは今年没後30年だ。美術館でやるべきだがやっていない。生誕や没後はどこの美術館でもやる。井の頭公園も100周年の方が忙しく肝心のところが抜けている。

委員	彫刻は自然文化園に展示してあるので、美術館で何を取り上げるかというのはあるかと思う。確かに北村西望さんは絵画もあるのでコラボレーションしてやってもいいかもしれない。
委員	武蔵野プレミアムの冊子のようにまとめてもらえないか。
委員長	所管が難しいかもしれない。
委員	やるのであれば生涯学習スポーツ課で文化として扱って情報収集して発表する形になると思うが、個人情報も一部含まれているので、ご本人や遺族の方と協議しながら進めなければならないので時間はかかると思うが、進めるべきではあると思う。
委員	武蔵野市のウェブサイト上で見られる、2012年市政要覧の「武蔵野市在住の著名人に聞きました」及び「武蔵野市名誉市民」というタイトルの添付ファイルで、すでに多くの武蔵野市の文化人が紹介されているので、それに付け足す形にすれば、効率的に紹介冊子を作ることができると思う。
委員長	今後の修正は委員長、副委員長に一任いただくということによろしいか。 (異議なし)
委員	各課の意見をもらったのは大変いいことだと思う。今後は逆に観光推進という立場から他の課にも意見を反映していただきたい。私は街の清潔と安全の確保ということをお願いしたい。友人からよく「自転車の乗り方が荒っぽい」「街が散らかって汚い」ということを聞く。武蔵境のように清潔でいい空間もあるが、吉祥寺はだんだん汚くなっている。お年寄りが自転車にぶつかりそうになったり、歩道を猛スピードで自転車が走っていたりということがしょっちゅうある。観光を成功させるために基盤として清潔・安全の確保を市のいろいろな活動にフィードバックしていただきたい。
委員長	議論はこれで終了とする。ありがとうございました。

